

平成29年度 園 評 価 ま と め (教員による園評価結果報告・改善計画)

びわこきららこども園

1 教育目標

- 1 「知・情・体」三位一体の総合教育で人間としての根っこの力を育みます。
○伝え合いや表現を楽しみかがやく子
○約束を守ったり思いやったりして仲良くできる子
○明るく元気に生活を切り拓く子

- 教育目標への理解もまだまだ実践途上に有り、先生達の理解にはばらつきが見られる。
- 開園3年目に入る29年度は、教育目標がすらすらといえる教員集団になろうと取組、意識付けはできた。
- 学級経営案を4月当初に立てるが、教育目標を受けての経営案であることへの理解が不十分。子ども達の実態に即し学級経営目標を立て、学期末毎にPDCAを行う必要がある。

- 2 園歌
強い体で学びます 優しい心で励みます きらきら光り
熱い思いで頑張ろう 我慢・元気・約束 五感を鍛え*
みんなで力を合わせて羽ばたこう

*目で見える 耳で聞く 口で唱える 鼻で嗅ぐ 手で触り足を動かす五感による活動は脳の発達に必要な活動

- 園歌はしっかりと子ども達のものとなっている状況を踏まえ、園歌のキーワードを共通理解し、園生活に園歌の活用を図るべく、生活の場面で折々に指導実践を図りたく思うところである。歌唱指導のみで終わってはもったいない。

2 保育・教育計画

- 3 ● 27年度に子ども園としての教育全体計画を構想し実践しているが、計画も実践もより良きものを求め、修正を要する。30年度からの改定を受け大きな課題である。30年度は研究体制で全体計画を構築する必要あり。

- 5 ● 日々の保育教育PDCAは日案等で行っているが、PdCAの実際の理解が不十分で実践につながっていない。心の中には反省はあると思うが・・・。
分掌でのPDCAは年度末反省を全教員で行うので次年度の計画に生かせるようになっている。

- 6 ● 園だよりやクラスだよりで保護者への教育活動の周知は図れている。特に、行事においては、力を入れている分、保護者からの支援も多く、互いの信頼関係を築く途上にあると思う。

3 環境の構成

- 7～13 ● 開園3年を経過する中、子どものおもちゃなどまだまだ十分ではなく、備品等も十分ではない。保護者会や補助金等で、少しずつ補充をしているところである。それでも、29年度は教具・玩具等の充実を少し図ることができた。評価が低いのは3学期の補充となったことによる。
- 安全で清潔感ある環境構成は、みんなで点検を行い努力している。整理整頓を合い言葉としたい。

- 先生達が良き見本モデルとなるよう「後片付けの励行」を合言葉としたい。
- 季節の変化に応じた自然の環境構成は近くの公園に出かけいろいろ収集し環境構成をしているが十分ではないという評価かと。栽培活動にも取り組んでいるが園庭の緑化が望まれる。
園内の掲示では季節の変化に応じた環境構成を子ども達と共に取り組んでいる。
季節感を感じさせようという先生の意識が足りないという評価かと。
- 異年齢の乳幼児が自然に交流できるような環境構成は、園庭での砂場が挙げられるが、園内では課題として残る。

4 保育・教育のあり方

14～29

- 概ね、どの項目にも良き評価が得られている。
- 幼児期の終わりまでに育って欲しい⑩の姿は今年度速くから研修取組を行い研修成果が認められるが、写真やエピソードでの評価は次年度の課題である。
- 言葉使いや叱り方などは常に課題意識を持って保育教育の実践をしていきたい。

5 保護者、地域との関わり

30～34

- 保護者対応については全教職員が心を砕いている。
- クレームは謙虚に受け止め、子ども園として「就労支援」を第1義に捉え、対処している。
- 地域の人々との交流としては、行事の案内を配布したり、清掃活動に参加したりして、少しずつ地域に溶け込んでいると感じている。
- 子育て支援事業や地域開放については、園庭開放をポスター等で通知したが利用は少ない。茶道の体験「親子で抹茶タイム」を行い保護者やその友人等の参加が有り楽しくできた。
行事の公開案内は行っている。
(夏祭り・運動会未就園児競技・作品展招待・発表会招待)
夏祭りは夜7時まで行ったので近隣より苦情を受けた。6時までとしたい。
- ③4番については計画は運営部が行い、研修で降ろしてないことによる。

6 研修と研究

34～37

- 日々の保育教育と行事の実践をこなすこと＝自己研鑽無くしては成せない内容を全教員は実践している。
- 本園の特色とする日課活動の研修も積極的に取り組めた。
- 外部研修にたくさんの先生を派遣できた。
- 30年度はキャリアアップ研修に自主的に参加できることを共通理解したい。
- 乳児部・幼児部共に保育教育の実践公開を全クラスでできた。

7 保育教諭の資質と能力

38～46

- 保育教諭としての心得や常識は理解している。
更に、本園の心得等も理解し統率がとれている。
- ④5番、仕事に関する締め切り等では、課題が残る。
- 仕事量が多く、時間内にこなせてない現状をどう解決するかが課題。
保育士の補充確保を進めていきたい。

以上